

愛工大の酒 「二代目 瑞若」 について

昨年に引き続き瑞若会本部事務局が企画した愛工大ブランドの清酒「瑞若」が完成し、平成27年6月27日の総会でお披露目いたしました。

今年は「二代目 瑞若」と命名し、この先も続くことを願ったものです。ラベルは本学同窓生である佐藤友泰氏（51K）の筆による「二代目 瑞若」の酒名が書かれており、篆刻で「愛知工業大学同窓会」が押印（佐藤氏の弟さんの佐藤公治氏の作品）されています。

酒の選定は、平成27年5月8日に名古屋ガーデンパレスにおいて、後藤泰之学長をお招きして選定会を開催しました。ラベル等を伏せたきき酒による投票の結果、澤田酒造株式会社（愛知県常滑市）の製品となりました。

原料に使われている酒米は「若水」というお米を全量使用しております。常滑市内の蔵元から半径2km以内の地域で減農薬にて丹精込めて栽培したものです。おりしも大学の母体である名古屋電気学園の所在地は「名古屋市千種区若水1丁目」であり、昨年に続いて偶然の一致ではありますが愛知工業大学にとって縁のある酒となりました。

販売については、今年も株式会社名榎屋（愛知県東海市）のご厚意により、販売・発送していただけるようになりました。大学から遠方で活躍されている同窓生の方々にも味わっていただけるように、配送も対応して頂けるとのことです。

今後も毎年、愛工大の酒「瑞若」を同窓生の皆様にお届けできるようにできるようにとっております。同窓生みなさまのご協力をお願いするとともに、愛工大の酒「二代目 瑞若」をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

平成27年7月 瑞若会 愛工大の酒「瑞若」企画委員会
代表 岩月栄治（61D）

※酒米「若水」：1972年、愛知県による開発。同県農業総合試験場作物研究所にてあ系酒101/五百万石を交配、1983年愛知県奨励品種に採用、1985年に品種登録。早生品種 短稈長 80～85cm 平野栽培。